

令和 6 年度中央区高齢者施策推進委員会
会議記録

名 称	令和 6 年度中央区高齢者施策推進委員会	
開催日時	令和 6 年 1 2 月 5 日（木） 1 8 : 3 0 ~ 2 0 : 3 0	
場 所	中央区役所本庁舎 8 階大会議室	
出 席 者	委 員	和気康太（委員長）、 望月孝裕（副委員長）、戸所綾子、関谷治久、菅野佐百合、高野大輔、新井晃行、遠藤龍雄、松井亮輔、鳥居理英子、五條里栄、寒河江千智、大久保稔、田部井久、渡瀬博俊
	事務局	高齢者福祉課長、介護保険課長、保険年金課長、 高齢者福祉課高齢者福祉係長、高齢者活動支援係長、 高齢者サービス係長、介護保険課管理係長、事業者支援給付係長、 介護認定係長、高齢者健康支援係長、指導担当係長
配 布 資 料	資料 1 中央区高齢者保健福祉計画・第 8 期介護保険事業計画（令和 5 年度）の取組状況と評価（重点事業） 資料 2 - 1 第 8 期（令和 3 年度～令和 5 年度）における介護給付費等に関する分析 資料 2 - 2 第 8 期介護保険サービス等の実績（令和 5 年度） 報告資料 1 保険者機能強化推進等交付金 報告資料 2 第 5 期介護給付適正化計画の取組状況と評価 〔中央区高齢者保健福祉計画・第 8 期介護保険事業計画の進捗状況に関する添付資料〕 中央粋なまちトレーニング 小冊子 「自宅で粋トレ」 チラシ 「粋トレ教室」 チラシ 「粋トレチャレンジ」 チラシ 中央区高齢者通いの場マップ 地域見守り活動実施団体一覧 「高齢者の見守り活動に関する協定書」締結事業者一覧 認知症ケアパス「備えて安心！認知症」 行方不明高齢者捜索ネットワーク チラシ 在宅療養支援講演会 開催チラシ 歯科と薬の講演会 開催チラシ 中央区介護人材確保支援事業 案内チラシ 中央区介護職合同就職相談・面接会 開催チラシ 〔机上資料〕 中央区高齢者施策推進委員会委員構成 中央区高齢者施策推進委員会座席表 中央区高齢者の生活実態調査および介護サービス利用状況等調査報告書、同（概要版）	

	中央区高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度） 中央区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度） 高齢者福祉事業のしおり 介護保険べんり帳
--	---

議事要旨

1 開 会

事務局から、新たに委員になった新井委員、田部井委員、生島委員を紹介。

2 議題

（1）中央区高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和5年度）の取組状況と評価（重点事業）について説明。

（2）第8期（令和3年度～令和5年度）における介護給付費等に関する分析と第8期介護サービス等の実績（令和5年度）について説明。

松井委員 第8期計画の目標6について、地域で住み続けるために住宅改修はもちろんだが、福祉用具や支援機器などが極めて重要であると考え。近年では知的障害の方のコミュニケーション支援ツールの開発・活用が進んでいる。認知症の方にも活用できると思う。ぜひ、福祉用具や在宅生活を支援するツールの提供や使用方法などの展示会や研修会など検討いただきたい。

事務局 手すりの取付や段差の解消など、住宅改修は介護保険サービスとして全国的な制度の中で取り組んでおり、引き続きしっかり周知して、必要な方が利用できるように努めていく。また区独自のサービスとして住宅設備改善給付も提供している。コミュニケーションツールに関して、障害福祉部門とも連携をしてどのようなものが必要であるか随時検討していく。

高野委員 3点ある。①粋なまちトレーニングのメニューがラジオ体操とバッティングしているように思う。後期高齢者のようにラジオ体操が厳しい方向けのメニューを検討してほしい。②高齢者通いの場は男性の参加が少ない。女性に気を遣っているのではないか。そこの支援を検討してほしい。③自費でのリハビリのニーズがあると聞いている。介護保険によるリハビリのメニューが合致してないのではないか。

事務局 ①粋なまちトレーニングは体力に自信がない方には座ってトレーニングできるようになっているが、普及・啓発が足りていないと考えている。メニューに関しても改善ができるのであれば随時検討していきたい。②男性専用にしても集まらなかった過去がある。大きな課題であると思う。通いの場の中で健康麻雀をやっており、こちらは男性の参加者数も多いということなので活動内容など引き続き

検討していきたい。③訪問リハビリテーションの事業所自体が少ないこと、訪問看護等でも理学療法士の方がリハビリテーションを提供しているなどの要因で利用として伸びていないのかなと思う。介護保険サービスを知らないため自費でやっているのであれば、介護保険サービスとして使うことで自己負担が減ったり、より自分の状況に合ったリハビリができることもあるかと思う。引き続き介護のメニューとして提供していきたい。

和気委員長
戸所委員

②については男女差を理解し、適したメニューを検討していかなければならない。日本橋医師会主催の介護事業者の集まりに出席した際に、同様の課題があがった。先ほど健康麻雀の話があったが、勝負事などのプログラムがあると男性も参加しやすく、プログラムの開拓の余地はあるのではないかと思う。

鳥居委員

さわやか体操リーダーでは半数を男性が担っている。対してセカンドライフ応援セミナーの参加者が少ないことについて、広報が足りていないと感じる。区民カレッジの一つのメニューとして取り入れることを検討してはどうか。

事務局

区のおしらせのような紙媒体以外でのホームページやSNSを活用した広報があまりできていなかったと思う。セカンドライフ応援セミナーについては令和5年度をもって事業を廃止したが、「退職後の生き方塾」や区民カレッジではないが社会教育会館で実施している「ゆうゆう講座」など他の取組を通じて区民の皆さんのセカンドライフを充実したものにしていくよう引き続き取り組んでいく。

五條委員

認知症ケアの推進について、「あまり達成されていない」との評価である「認知症サポート電話およびおとしより相談センターにおける相談支援」への検討が足りていないのではないかと思う。広報や周知だけでなく、医療機関との連携や情報共有はあまりされていないのか。

事務局

区では在宅療養支援協議会を設け、そこでは医療機関や介護事業所、専門的知識を有する方々と医療と介護の連携・推進を図っている。また、認知症サポート電話やおとしより相談センターに相談する前に医療機関の地域連携室などからおとしより相談センターにつないでいただくといった連携体制ができていているという事例もある。

高野委員

認知症に関しては本人ではなく、家族や近隣の方の報告によって発覚するケースが大半である。日中働いている家族の相談窓口としておとしより相談センターに時間外対応があり、その周知がなされれば「あまり達成されていない」が改善されると思う。また、周知、広報に関しても高齢者の中にはLINEをはじめとしたデジタルでのコミュニケーションが大好きな方もいる。周知方法について、広く取り入れていくことも検討していただきたい。

事務局

相談窓口については、ツールを増やしていくことを引き続き検討したい。周知方法についても、今後デジタルとアナログの併用を考えていく。

松井委員

「退職後の生き方塾」を行政主導でやるのが適切なのか。生き方の選択肢として情報提供するくらいではないか。

事務局

本事業は介護予防日常生活支援総合事業を根拠として実施しており、厚労省でもガイドラインを出されているもので、退職後の高齢者の社会参加へのきっかけ作

りや生き方のヒントの提供などを行っているもので、行政による生き方の強制やということではない。

- 高野委員 民生委員の活動をしていると、本区は高齢者の人口流入が多いと感じる。そのような転入して来られた方に情報が行き渡っていないことが多いので、その周知・広報を改善するとよいと思う。
- 事務局 ホームページでの広報に加え、おとしより相談センターを中心として民生委員の方や地域の方々の協力も得ながら、広く周知を図っていきたいと考えている。
- 松井委員 介護保険給付準備基金残高はいくらあるのが適正なのか。
- 事務局 明確に金額を示すことはできない。介護給付費が上振れたりすることを考慮すれば、現在の7億円というのは対応が可能であり適正ではないかと思う。
- 大久保委員 理想論で言えば残高がないというのが本来あるべき状態である。語弊があるかもしれないが、基金残高は前の期に保険料を取りすぎて積み立てているものである。その基金残高を今後の保険料上昇の抑制に活用させていただいているものである。
- 和気委員長 私が見ている限り、中央区は平均的なレベルでうまく運用している。そういう意味では計画から大きく逸脱している数値ではないという結論になるかと思う。

(3) 保険者機能強化推進等交付金（インセンティブ交付金）について説明。

(4) 第5期（令和3年～令和5年）介護給付適正化計画の取組状況と評価について説明。

- 和気委員長 保険者機能強化推進等交付金について、令和6年の評価が下がったのはなぜか。
- 事務局 評価指標の見直しがあり、活動・事業の実施状況等を全国で順位付けし、順位によって得点が変わるアウトプット指標及び事業の成果を変化率や改善率などで評価するアウトカム指標が増加したことが影響していると考えている。

3 振り返り

和気委員長より各委員に今期の委員会を振り返って一言ずつ発言してもらいたい旨を説明。

- 戸所委員 今季より初めて委員をさせていただいたが、大変勉強になる会だったと思う。
- 関谷委員 先ほど高齢者でもLINEが好きな方がいるという話題があったが、現場でも実感している。様々なことが勉強でき、とてもためになった。
- 菅野委員 男性と女性の社会参加の話が出たが、薬局に来る高齢者の方で麻雀が好きな方が結構多く、いつも楽しそうに生き生きと麻雀の話をされてる。そういった機会をたくさん作っていただけたらと思う。
- 高野委員 大変勉強になった。民生委員活動の方でまたフィードバックしたいと思う。
- 新井委員 初めての出席で難しかったが、先日の敬老大会では区長さんはじめ課長さんありがとうございました。今日はそのお礼を言いたい。
- 遠藤委員 日頃は比較的元気な高齢者の就業を通じた生きがいをづくり対策に従事している。

勉強不足でなかなか意見できなかったが、皆様のご意見は本当に大変勉強になった。

松井委員 いくつか提案をさせていただいたが、ぜひ次期計画に生かしていただきたいと思う。今後の活躍を祈っている。

鳥居委員 毎回詳しい資料を作成していただいて、私もとても勉強になった
五篠委員 介護を受けている人の家族という立場で参加させていただいた。貴重なお話をたくさんいただいて勉強になった。また、実際にその場に活かせるということがすごく実感でき、何か普段からこうしたらいいのではないかなど、疑問に思っていることも専門の方にお話が聞けて本当に良かった。

寒河江委員 この会議に参加させていただき、本当に勉強になることばかりだった。訪問看護ステーションで働いており、いろいろな方がいる。デイサービスに自分から行く方もいるし、積極的に誘っても行かない方は行かない。個別の看護が必要である中で、中央区が用意しているサービスをうまく活用するにあたり、サービスを周知する一つの手助けをしていけたらいいと思った。今後、仕事に活かして頑張っていきたい。

望月副委員長 勝手なイメージですが、都心の方々は冷たくてあまり活動がないのではないかと、仕事で忙しい方というイメージでしたが、会議に参加させていただいて、非常に活発で、活動されている地域だと思った。「粋」の一端に触れさせていただいたと感じた。

和気委員長 今期も無事終わりほっとしている。事務局の方も資料を丹念に、丁寧に作っていただいて感謝している。この議論を活発にできるのはこのような資料があるからできると思っているので感謝申し上げる。少子高齢化社会が進む中で日本社会の先行きが暗い、これから大変だという話が多い。しかしながら、よく考えてみれば日本社会や日本人はこれまでの危機を乗り越えてここまで来ている。必ず暗い未来だけではなく日本人の創意工夫を集結して、問題を解決していくというときが来るのではないかとと思っている。望むらくはその先頭に中央区が立っていただきたい。「中央区が変われば東京が変わる。東京が変われば日本が変わる。日本が変われば世界が変わる。」そのくらいの上昇志向で施策に取り組んでほしい。介護保険制度の中で難しいところも多いとは思いますが、地域の活動などはそれぞれの地域特性に合わせて展開できるはずなので、ぜひ中央区らしい「粋な高齢社会」を作っていただきたいと思う。

4 高齢者施策推進室長のあいさつ

事務局より、意見表の提出、今後の日程について説明。

5 閉会

和気委員長の閉会宣言にて終了